

HP Integrated Lights-Out 3 v1.26 リリース ノート

HP 部品番号: 616296-195
2011 年 9 月
第 1 版



ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。HP 製品に対する保証については、当該製品の保証規定書に記載されています。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューター ソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューター ソフトウェア、コンピューター ソフトウェア ドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Windows NT、Windows XP および Windows 7 は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。Intel およびインテルはインテル コーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

リビジョン履歴

製品番号	サポートされるバージョン	改版番号	改版日
616296-191	バージョン 1.00	1	2010 年 3 月
616296-192	バージョン 1.05	2	2010 年 6 月
616296-193	バージョン 1.20	1	2011 年 4 月
616296-194	バージョン 1.25	1	2011 年 6 月
616296-195	バージョン 1.26	1	2011 年 9 月

HP Integrated Lights-Out 3 v1.26 の概要

HP iLO 3 ファームウェアを使用すると、サーバーをリモートで設定、更新、および操作することができます。ブラウザーベースのインターフェイスまたは RBSU で iLO3 を設定できます。詳しくは、『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 ユーザー ガイド』を参照してください。多数のツールおよび構文が iLO 3 をサポートします。詳しくは、『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 スクリプティング/コマンド ライン ガイド』を参照してください。iLO 3 の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入しないと使用できません。詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo3>（英語）を参照してください。

このリリースの新機能

今回リリースされた iLO 3 ファームウェアは、バージョン 1.26 です。

新機能

iLO 3 ファームウェア バージョン 1.26 リリースでは、次の機能が拡張されています。

- Microsoft Internet Explorer バージョン 7、8、および 9 のサポートを追加。
- 電源停止（電圧低下による）の後にサーバー オペレーティング システムを再起動する機能を追加。これにより、iLO をリセットしなければならないほど長くはないが、OS の再起動に必要な短い電源停止にも対応できるようになります。なお、iLO をリセットしなければならないほどの長い電源停止（停電による）後のサーバーの再起動はすでにサポートされています。
- SSL 証明書のカスタマイズのサポートを追加。これにより、国、州、市町村、組織名、組織単位、および通称について、お客様固有のデータを入力できるようになります。
- HP ProLiant G7 ML/DL/BL サーバーのハードディスク ドライブ ヘルス監視のサポートが追加されました。これにより、iLO UI の [システム情報] ページの [ドライブ] タブにドライブのステータスが表示されるようになります。

修正点

iLO 3 v1.26 リリースでは、以下の項目が修正されました。

- HP ProLiant ブレード サーバーの自動電源投入設定が逆という問題。この問題は、iLO 3 v1.25 で発生していました。詳しくは、カスタマー アドバイザリ http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?locale=en_US&objectID=c02913412（英語）を参照してください。
- HP ProLiant ブレード サーバーが、Onboard Administrator に最大電力を要求する可能性があるという問題。このため、エンクロージャーで利用できる電力によっては、エンクロージャー内の別のブレードからの電源投入要求を OA が拒否する可能性があります。この問題は、iLO 3 v1.25 で発生していました。詳しくは、カスタマー アドバイザリ <http://h20000.www2.hp.com/bizsupport/TechSupport/Document.jsp?objectID=c02975068>（英語）を参照してください。
- 2048 ビットを超える DSA プライベート キーを使用する SSH を実行すると、iLO 3 Web サーバーと SSH が応答を停止することがあるという問題
- ドライブ、フォルダー、またはイメージの接続後、仮想メディア スレッドが偶発的に応答を停止するという問題。仮想メディアは、iLO 3 を再起動するまで利用できません。
- iLO のいずれかのグローバル設定を変更するための XML スクリプトを実行した後で、仮想メディア スレッドが応答を停止することがあるという問題。仮想メディアは、iLO 3 を再起動するまで利用できません。
- iLO 3 内部の DNS サーバーの設定が誤っている場合や DNS サーバーにアクセスできない場合、VSP や Textcons を起動してもスタートするまでに遅い場合は 2 分もかかることがあるという問題

- サーバーの再起動後、POST 実行時に次のエラー メッセージが表示されることがあるという問題
Warning - iLO 3 not responding. System health monitoring disabled
- サーバーが RBSU の CLI モードにある場合、VSP セッションにテキストを貼り付けても正しく機能しないことがあるという問題
- HP ProLiant DL360 G7、DL380 G7、または DL580 G7 サーバーで VMware ESXi バージョン 4.0 または 4.1 を実行すると、iLO 3 が誤って 9006 状態をレポートすることがあるという問題
- HP ProLiant BL460c G7 で、ウォーム ブート後、ブレードが取り付け済みの全メモリ DIMM の検出操作に失敗することが散発的にあるという問題

① **重要:** iLO v1.25 ファームウェアへのアップグレードを済ませている場合は、できるだけ早く都合をつけて v1.26 ファームウェアにアップデートすることをおすすめします。

以前の修正

iLO 3 v1.25 リリースでは、以下の項目が修正されました。

- Java リモート コンソールを開き、使用中のリモート コンソール セッションを取得しようとすると、Java と Internet Explorer が応答しなくなる問題
- Windows 7 クライアントから .NET 統合リモート コンソールを開くと、タスクバーから言語アイコンが消える問題
- RIB_INFO タグを含む XML スクリプトを正常に実行するには、ユーザーに iLO の設定権限が必要になる問題
- XML スクリプトを実行して 1 つの iLO 3 ポート番号を変更すると、次のエラーが生成されるという問題
Port assignment must be unique
- XML スクリプトを使用して新しい SNTP タイムゾーン設定を適用しようとしても動作しない問題
- RIBCL を使用して GET_EmHealth.xml を実行すると、パワー サプライのステータスが正しくなくなる問題
- HPONCFG または LOCFG.pl から RIBCL を使用して CERT_Request.xml を実行すると、エラーになる問題
- fence_ipmilan を使用してサーバーの電源を切ると、サーバーが再起動する問題
- Web GUI の [ディレクトリ サーバー アドレス] フィールドに、複数の IP アドレスを追加できない問題

廃止された機能

以下の機能は廃止されました。

- Microsoft Internet Explorer 6 のサポートは終了します。
- Telnet インターフェイス - 複数の SSH セッションが使用可能になったため、Telnet インターフェイスは不要になりました。
- ターミナル サービス パススルー - iLO 3 の統合リモート コンソールにより、このサービスが不要になりました。
- リモート シリアル コンソール用のアプレット - リモート シリアル コンソールは引き続き SSH を通じて使用できます。

- 仮想メディア用のスタンドアロン アプレット - 仮想メディア機能は、Java 統合リモート コンソールおよび Windows 統合リモート コンソールに加えて、[仮想メディア] ページに組み込まれています。
- リモート コンソール ホット キー - 統合リモート コンソール アプリケーションは実際のキーボードのような機能をサポートします。
- cClass BladeSystem ウィザード - BladeSystem Onboard Administrator によって BladeSystem ウィザードのサポートが提供されます。

インストールに関する注意事項

以下のいずれかのオプションを使用してファームウェアをインストールしてください。

- 更新するホスト システム上で iLO 3 コンポーネントを実行します。
このコンポーネントは、iLO 3 ファームウェアを更新し、iLO 3 プロセッサをリセットします。
- コンポーネントからファームウェアを抽出します。
コンポーネントは、ファームウェアイメージファイルの iLO 3_yyy.bin (yyy はファームウェアのバージョンを表す) をターゲット ディレクトリに保存します。
ファームウェアが抽出されたら、以下のいずれかの方法を実行できます。
 - iLO 3 にログインし、[ファームウェア アップデート] ページに移動して、このページからファームウェアを更新します。
 - HP Lights-Out 設定ユーティリティ (CPQLCFG) と RIBCL/XML スクリプトを使用して、ネットワーク経由で iLO 3 を更新します。
 - HP Online Lights-Out Configuration ユーティリティ (HPONCFG) と RIBCL/XML スクリプトを使用して、サポートされるホスト OS から iLO 3 を更新します。
 - Directory Migration Utility (英語) を使用します。このユーティリティは、HP Directories Support for Management Processors (英語) に含まれており、HP の Web サイト <http://www.hp.com/jp> にある [iLO 3 ダウンロード] ページの [ソフトウェアおよびドライバ] から入手できます。
この Windows ユーティリティは、Lights-Out プロセッサのネットワーク検出、インポート/エクスポート機能、および大量のファームウェア更新をサポートしており、ディレクトリの移行は不要です。

アップグレードに関する注意事項

(オプション) - 資料に示されているいずれかの問題修正がシステムに関係している場合、またはこのバージョンによって提供される拡張機能を使用する場合は、このバージョンに更新してください。このファームウェアは、iLO 3 専用です。このファームウェアは、iLO 2 や第 1 世代の iLO とは互換性がありません。

サポートと他のリソース

『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 ユーザー ガイド』および『HP ProLiant Integrated Lights-Out 3 スクリプティング/コマンド ライン ガイド』は、HP の Web サイト <http://www.hp.com/jp/servers/ilo> にあります。[マニュアル] を選択し、リストから最新バージョンのマニュアルを選択してください。

機能の使用方法について詳しくは、オンライン ヘルプを参照してください。ブラウザー Web ページからオンラインヘルプにアクセスするには、各ページの右上隅にあるクエスチョン マーク (?) をクリックしてください。